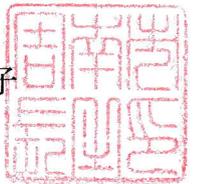


徳山大学校友会

会長 國 廣 憲 様

周南市長 藤 井 律 子



新たな公立大学法人の名称について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素より本市のまちづくりに対し、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年 4 月 23 日付で「徳山大学」の名称を継承する要望書をいただいたところですが、その後、市におきましても様々な観点から検討してまいりました。

先日、公立化に関する諸議案を議会に提案し可決されましたが、改めまして新たな公立大学法人の大学名を定めた背景や根拠について、ご報告させていただきます。

徳山大学は、開学から約 50 年にわたり、およそ 1 万 7,000 人の卒業生を輩出されるとともに、山口県東部唯一の 4 年制大学として、周南市のみならず周南地域のまちづくりに大きく貢献されてきており、市といたしましては、地域になくてはならない高等教育機関と認識しております。

そのため、公立化に当たっては、徳山大学の建学の精神や教育理念における「公正な社会観と正しい倫理観の確立を基に『知・徳・体』一体の全人教育」を行うことを公立大学法人の定款の目的に明示し、徳山大学の歴史と伝統を引き継いでいくこととしております。

そうした考えに立った上で、新たな校名としては、

- ・ 市民一人ひとりが、自分たちの大学として愛着を持ち、将来を担う地元の子供たちや若い世代から憧れられる名称とする
- ・ 大学を生かしたまちづくりを進めるため、名称を刷新し、新たな公立大学としてのブランド力を高める
- ・ 設立団体である周南市の名称を用いるとともに、全国に向けた効果的なシティプロモーションの手段として活用する
- ・ 県東部唯一の 4 年制大学、知の拠点として、周南市だけでなく、周南地域を中心とした広域的な交流、関わりを持ち続けられることを期待する

といった観点から、「公立大学法人周南公立大学」と決定いたしました。

高村坂彦先生が情熱を持って建学にご尽力され、全国的にも高い知名度を有する「徳山大学」の名称を変更することは、卒業生の皆様の思いを拝察いたしますと、大変心苦しい気持ちでございますが、これから先、将来の50年を見据え、徳山大学が公立大学法人となった後も地域貢献型の大学としてさらなる発展を遂げていけるよう、市としても、大学を生かしたまちづくりに全力で取り組んでまいりますので、何卒ご理解を賜りますとともに、周南公立大学の運営に、引き続き多大なるご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

終わりに、校友会のさらなるご発展と校友会の皆様のますますのご健勝ご多幸を祈念いたします、ご報告とさせていただきます。